

まっちゃんぐ

街 ing いばらき NEWS

No. 226

2021年

12月号

(毎月25日発行)

長谷川誠子

11月例会 議事録

日時： 令和3年11月4日(木) 15:00～17:00 <本年6月より15時開始に変更しています>

場所： 川本本店 茶論[縁](さろん「えん」)

街 ing 出席者 8名 川本 阪田 杉田 鈴木 中村 長谷川 牧 吉田

追手門学院大学地域創造学部 1年 4名 久留米利久 堀内遼音 小崎こざき格人 藤原怜大さん 計 12名

- 1 茨木のまちづくりに関心のある追手門大学の学生4名をゲストとして迎えました。川本家や茨木城の歴史に関する質問を受けました。
- 2 紅葉狩りを 11/26(金)に実施します。行先は阪急電車嵐山線松尾大社周辺
見所 晩秋の紅葉 松尾大社「とりよね」での食事 参加者 街 ing 関係 12名 パソコン 14名 計 26名を予定。
- 3 12/9(木)に忘年会を実施します。場所パナソニックリゾート ふぐ料理・カニ料理 参加者 9名を予定。当初は夕方の時間帯を予定しましたが、12時開始に変更しました。幹事を杉田さんをお願いしています。
- 4 来年のお花見として仁和寺周辺を検討します。日程は来年2月に決めます。
- 5 12月の例会はなし。1月もなし。 次回例会は2月3日(木)、引き続き15時開始です。



「どうなる、これからの茨木」

10月7日 街ing 定例会 報告 文責：桂 睦子



10月の街ingの集まりにおいて、事前に頂戴していた茨木市の事業について、お話しする機会をいただき、ありがとうございました。市の事業やまちづくりについて、関心を持っていただけることに加え、街ingのみなさまからは、いつも鋭いご指摘や有益なご提案おいただけること、さらに、まちのありようや人の生き方など深い話まで共有できることに感激しきりです。

以下、10月にお話しさせていただいたテーマのダイジェスト報告です。

1. 阪急茨木市駅西口再整備について

現在、茨木市の整備計画（案）を議会の市街地整備特別委員会で審議中です。

委員会において、

- ・ 少子高齢化や人口減少、ウィズコロナに対応できるまちづくり
 - ・ 茨木市の玄関口にふさわしい駅前空間利用や景観、交通課題
 - ・ 超高層建築物の在り方
 - ・ 民間建物を含む再々開発事業における事業予算（税金による財政負担）の在り方等
- について、議論や質疑が行われています。

将来長きにわたり、財政のみならず、景観やまちの在り方に影響を及ぼす事業だけに、多くの議員が、スピード感も重要ですが、将来世代に対して責任ある判断を行いたいと考えています。



2. JR 西側再整備について

地権者や周辺住民の皆さんのワークショップを経て、「JRに茨木駅西口駅前周辺まちづくりビジョン」が策定され、続いて「周辺整備基本計画」が策定されようとしています。

具体的な計画策定の前に、市民のみなさんが、JR 茨木駅周辺にどのような事を求められているのかを知るためのアンケートが12月1日より、市のホームページで実施されます。

ぜひ、みなさんのご意見をお寄せください！

3. 民間病院誘致について

茨木市の人口予測では、令和7年にピークとなりますが、高齢者人口は令和22年まで増加する見込みです。

そこで、小児救急医療を含む小児科、高齢者に多い呼吸器系疾患や骨折等の入院受け入れ機能の確保（ベッド数200床程度）が課題となります。

そこで、現在、阪急東側（元府営住宅跡地の駐車、駐輪場）を場所の候補に、病院を誘致すべく、病院誘致の理念や基本整備方針等を外部の有識者（学識、医師会等をメンバーとした）検討委員会において検討中です。

* 現時点で想定される病院誘致スケジュール

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10～11年度
病院事業者の決定	←→						開院 予定
基本計画策定	←→	←→					
基本計画・実施設計		←→	←→	←→			
工事施行					←→	←→	

4. 市民会館建替えについて

令和5年（2023）秋の竣工をめざし、コロナ禍においても、着々と工事の進む新施設。
「みんなでつくるひろば」「みんなに大切にされる施設」であるために、様々なワークショップが開催され、ホームページでは工事の状況などもご確認いただけます。

＜動地エリア整備のスケジュール＞

年度	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
■管理運営開始 【新施設・立地】	4	3	4	3	4	3	4
■敷地A・B 【DB事業】	1期	基本・実施設計 (先行工事)	建設工事	▼部分供用（8～84坪） 部分開業	▼全館供用 全館供用		
■敷地C・D 【暫定立地】 【整備事業】	2期	暫定 工事 整備	暫定立地供用 (社会実験あり)	（工事エリアより調整）		第2期 整備工事	供用
		第2期 整備計画	第2期 整備設計等	福祉文化 会館解体			



5. 西河原西交差点について

この秋、通行止めにもご協力いただき、工事の進む西河原西交差点。大阪府の事業で、工期は令和4年度までとなっています。まだ公式には、具体的な供用開始日は明らかになっていません。決まり次第、阪田さんを通じて、街ingのみなさまにもお知らせさせていただきます。

6. 目垣・野々宮区画整理について

令和元年11月に地権者等により、土地区画整理組合が設立され、業務代行者として株式会社竹中土木が選定されています。

区域は全体で約28ヘクタール。事業期間は令和6年（2024）年までとなっています。

※事業期間は、土地造成等の完了時期であり、店舗出店の時期ではありません。

※また、経済状況により、左図の店舗出店は変更になる可能性もあります。



令和3年7月発行 土地区画整理組合
まちづくりニュースより抜粋

「京都人の密かな愉しみ」

牧 彰

NHK BS プレミアムで、2015年より随時放映された「京都人の密かな愉しみ（演出：源孝志）」、なんと蠱惑的な響きなんだろう！「京都人の密かな愉しみ」は、端正な映像美と精緻に構成されたドキュメンタリー調異色ドラマで、外からは決して解らない“京都人の本質”が描き出されている。

水が温み、下鴨神社や御所の緑が輝き出す穀雨の頃、鶴子は北山にある古寺を訪れていた。

「まだつばみやわ……」

町中ではすっかり見頃を過ぎた桜だが、山の中ではこれからが盛りようだ。山門に続く古びた石段を上がっていると、頭を手拭いで包んだ作務衣姿の僧が、帚を手に現れ、掃き掃除を始めた。清哲である。

清哲は石段の鶴子に気づくと、掃く手を止めた。

「興聖寺の老師様に、この桜が綺麗やお聞きまして」

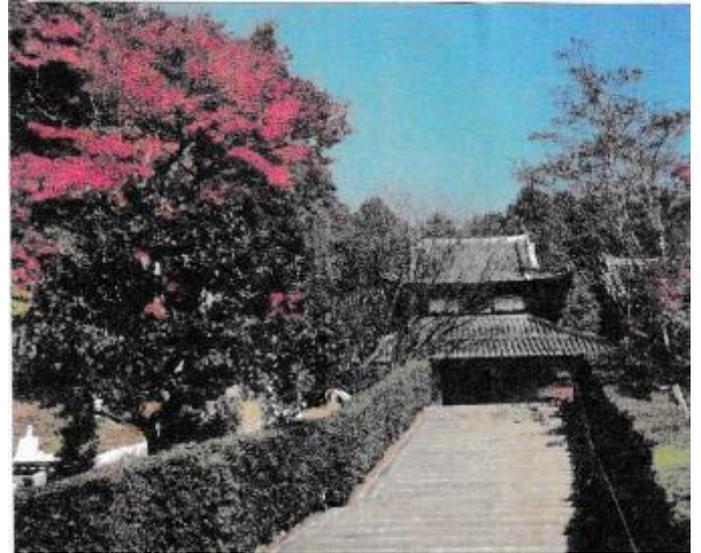
「ご無沙汰、しています。」

「うちのこと、覚えてくれはったんどうすな？」

「……はい」

「それだけで、嬉しおす」

鶯が遠くで鳴いた。



風景と同化した優しい佇まい「西寿寺」

『京都人の密かな愉しみ』

京都の老舗和菓子店女将・鶴子（銀粉蝶）が、亡夫が祇園の芸妓に生ませた隠し子・清哲（深水元基）に会いに都の北西の山寺を訪れる。そして、本堂前で出逢う一場面。テレビ画面に、清鳳山「慧観寺」とあった。

「慧観寺」つて、一体京都の何処にある！？随分探したけど。まさか、仮名だったとは！随所にドキュメンタリー色の濃いドラマなだけに、てっきり清鳳山「慧観寺」は実在すると思っていた。いろいろ検索の結果、ロケ地は仁和寺にほど近い尼寺・泉谷山「西寿寺」であることを突き止める。

「京都人の密かな愉しみ」からは、京都人だけが知り得ている隠れた穴場（本満寺、雨宝院、瑠璃光寺、白龍園、福德寺、魚ヶ瀬の桜等など）を多く教えられる。

それ故に、「西寿寺」に限りあえて仮名にした理由は？

本来、閑静な修行の場であるべき山寺に、観光客が押し寄せるのを懸念した？尼寺に男の僧がいる矛盾の解消？観光とは無縁の隠れ寺を、そっと温存するための配慮？または、その全て？

<西寿寺>

2021年9月中旬、バス停「福王子」で降り、紅葉で知られる三尾（高雄・梶尾・槇尾）へ通じる周山街道（国道162号）に行く。少しして右手のなだらかな道に入る。緩やかな坂道を空に近づく心地よさを味わいながら歩み、嵯峨野病院を過ぎてほどなく簡素な山門に突き当たる。

高地の涼しげな風が頬を撫で、小鳥の囀りも物想う耳に頗る心地よい。山門越しに見上げた山の中腹に佇む本堂の重層屋根は、恰も空に向かって飛び立とうとする鳳凰のように軽く伸びやかだ。左手の植栽越しに、作務衣姿の一人の僧が奏でる「さっ、さっ」という落ち葉を掃く音に引き寄せられる。頭には手拭を被り、マスクをしているためその表情こそ読めないが、優しい撫で肩の小柄な姿からして、この寺で修行している尼僧なのだろう。

諸手を思い切り大きく左右に伸ばして、深呼吸。本堂へ向かう緩やかな石段を一息に駆け上る。昇り切ると、三方を山で囲まれた境内中心に重層ながら尼寺らしい小振りな本堂。藤原時代様式の

温和な阿弥陀如来像を安置しているとか。

本堂に向かって左側に、些か見覚えある三重石塔。近江の石塔寺の阿育王塔を模したものとか。山号は泉谷山。本堂建設の際、太陽と月、星が彫られた三光石が現れ、その下から泉が湧き出したことに由来する。その泉は、今なお枯れることなく湧き出ているという。人の心の乾いた現代に、潤いと安らぎをもたらすような浄土宗寺院なのである。

阿育王塔と十三重石塔の間の道を上ると、視界が開けて水琴窟の音色も床しい静寂な庭園墓地の酔芙蓉が丁度見頃だった。爽やかな樹木葬墓地の展望処からは、洛西市街やあの双ヶ丘を一望する。

「西寿寺」は、京都市街を遠望するロケーションの素晴らしさなどから、時代劇やサスペンス・ドラマのロケ地としてよく使われているとか。

有難うございました。十分“心の保養”になりました。次は、花の時節にでも此処まで足を延ばすとするか！

<法蔵寺>

坂道を降って、嵯峨野病院の手前で右に曲がると「法蔵寺」。入口に江戸初期の陶工・尾形乾山（光琳の弟）窯跡の碑。この地が都の乾（北西）に当たることから、窯名を乾山と名付けて、後に自身の号として用いる。

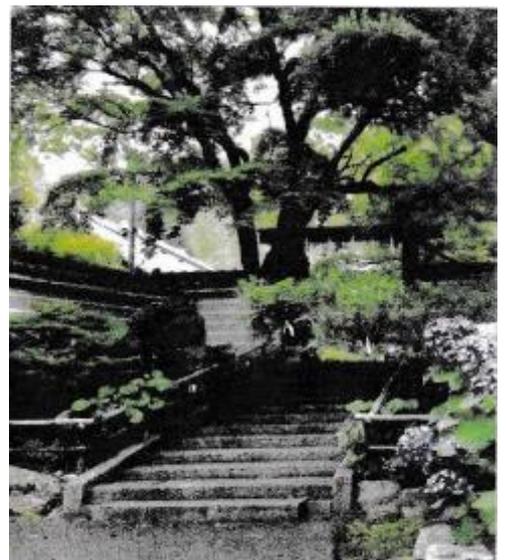
この窯から光琳・乾山兄弟合作の、書・画・陶一体の名品などが生まれる。そういえば、近くの双ヶ丘東麓住宅街に、乾山の師・野々村仁清窯跡の石柱があったのを思い出す。

北に小高い山が迫り、南へ穏やかに傾斜するこの付近は、江戸期から園芸用樹木を育成していて、美しい京都の庭を創り守ってきた植木職人たちの村として知られている。台杉などの特異な形状の庭木にも、心なしか癒される想いだ。

<三寶寺>

「法蔵寺」を後に、道なりに坂道を下って再び周山街道へ。街道を高雄方面に向かって暫し歩く。やがてバス停「三寶寺」に至る。そのすぐ先の「三寶寺」と刻まれた石柱から坂道を登って行くと、狭い道が続いて「三寶寺」の黒塗りの冠木門が大きな桜樹下に見えてくる。

寺院らしからぬ典雅な門を潜って境内に立ち入ると、名木「御車返しみくるまがえの桜」の若木が迎えてくれる。後水尾天皇が花の美しさに牛車を戻らせたという故事による。また、茶室前の枝垂れ桜は、円山公園の祇園桜と姉妹だと漏れ聞く。兄弟でなく姉妹とは、如何にも華やかな桜花に似つかわしい表現。毎春見事な花を咲かせる此処の桜に比べて、近年の祇園桜は、些か樹勢の盛りを過ぎていように見受けられる。姉妹桜ではなく、美人の母娘桜とした方がよろしいのでは！



冠木門と築地塀が織りなす風雅な「三寶寺」

此処は白砂山中腹に建つ山寺で、桜や紅葉が殊更美しい。本堂の裏山に、秀頼と淀君の供養塔がある。徳川幕府と対立したあの後水尾天皇勅願寺と聞いて、納得！妙見堂は戌の妙見さんとして、安産の守り神。

周山街道沿いの「平岡八幡宮・花の天井（秋の特別拝観9/17~12/5）」まで行くつもりだったが、いつもながら「寄り道・道草あり」のずぼらな道行で、すっかりへたばってしまった。

本日はここまでにして、「平岡八幡宮・花の天井」は後日の“密かな愉しみ”にするとしようか！

でも、人生の残り時間、あと幾許あるだろうか？



10月の例会時に桂睦子議員さんから頂いた資料の中の“彩都地区周辺の整備状況”の航空写真をここに転載します。現況が一目で概観出来ます。



<彩都東部地区の状況>

- ・ 山麓線エリアは既に資生堂新工場および2つの物流施設が稼働しています。
- ・ 中央東地区は造成が完了し複数の物流施設が稼働し、また複数の物流施設が建築中です。
- ・ A区域とC区域では開発許可申請などの手続きが進められており年内にも着工予定です。

<周辺の状況>

- ・ 都市計画道路“大岩線”は今年度内にも開通予定です。
- ・ 建設工事中の安威川ダムはダム堤の高さが8割以上まで工事が進んでいます。
- ・ 大門寺の大改造工事は、本堂、庫裏、講堂と講堂前の大きな池の造園工事が進んでいます。



冬季の高齢者宅内の寒さ対策留意点

杉田 宗三

高齢者にとって室内でも冬の寒さ対応は油断できません。その対策の留意点を検索してみました。ここに検索結果を転記します。

冬の寒さが本格的になる12月～2月にかけて注意していただきたいのは、身体の冷えによる影響です。厳しい冬の寒さは体温を下げ、免疫力の低下を招きます。加齢によりもともと免疫機能が衰えている高齢者は、冬に感染症にかかるリスクが高まるため、十分な注意が必要です。また、寒さによる身体の冷えは血行不良を招き、肩こりや膝の痛みなども誘発します。

さらに、冬場は心筋梗塞や脳卒中などを起こす方が増加します。心筋梗塞や脳卒中が冬に多い理由のひとつが、「ヒートショック（温度の急変による身体へのストレス）」です。

気温が下がると血管が収縮して血圧は上がり、気温が上がると血管が拡張して血圧は下がります。暖房の効いた**暖かい部屋から寒いトイレや屋外へ移動するとき**、寒い脱衣室から急に熱いお湯に浸かるときなどの血圧の急激な変動には要注意です



室内を適度に加湿する

お部屋の湿度は50～60%が適切です。加湿器を使用したり、室内に洗濯物を干したりして室内を加湿しましょう。洗濯物に扇風機やサーキュレーターで風を当てると、乾燥が早まり部屋干しの臭いを軽減する効果があるほか、空気が循環するため、冷えやすい足元の空気まで暖かくなります。また、部屋干しの臭いには、陽の当たる場所に干すことも効果的です。

入浴中の事故防止

高齢者の入浴中の事故は、12月～2月にかけての冬に多くなる傾向にあります。消費者庁の資料によると、平成27年のご家庭の浴槽での溺死者数については4,804人で、このうちの約9割が65歳以上の高齢者となっています。（厚生労働省・人口動態統計）

脱衣室・浴室などを暖める

温度差による血圧の急激な変化を避けるために、冬場はトイレ、洗面所、廊下なども暖かくしておきましょう。冷え込む朝は、暖房器具のタイマー機能を活用します。入浴前には、小型の暖房器具などで脱衣室や浴室を暖めておくことが重要です。

入浴時は特に気をつける

入浴事故を防ぐために、食後すぐや飲酒後、睡眠薬などの服用後の入浴は避けましょう。また、入浴前後には、水分を補給（コップ一杯が目安）することが大切です。

お風呂の湯温は熱すぎると血圧が高くなるため、41度以下（38～40度）に設定し、お湯に浸かる時間は短め（10分までを目安）にします。高齢者は入浴前にご家族に一声かけ、ご家族は「いつもより入浴時間が長い」と感じたら高齢者に声をかけましょう。



次回『街ing いばらき』例会のご案内

日 時： 2022 年 2 月 3 日(木) 15:00～17:00 12 月・1 月の例会はなし。

場 所： 川本本店 茶論「縁」(サロン「えん」)

住所： 茨木市上泉町6-29 TEL:072-624-5552

- 内 容： 1 4 月のお花見
2 5 月の行事 吹田周辺など
3 6 月の行事 芦屋周辺など
4 情報交換

『街ing いばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年3回程度の街歩きを行なっています。参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。
入会金 1,000 円 会費 年間 2,000 円(一か月 170 円)



《 編集後記 》

- 追手門学院大学の学生に来ていただき、11月の例会は盛り上がりました。勉学、社会活動での今後のご活躍を願っています。
- 10月の例会に参加いただいた桂議員から原稿をいただきました。2～3ページに掲載しています。これからの茨木を考える上で欠かせない内容になっています。投稿いただきありがとうございました。
- 街ingの行事は任意・自由参加です。事故・傷害などについては、自己責任で対応ください。街ingでは事故に対して、一切の責任を負いません。

《 編集・発行 》

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目 10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail:ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://www.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。
2021年11月現在での訪問者は9,470<前月比20の増加>となっています。

